

文教警察企業常任委員会資料

令和2年9月16日～18日

教 育 委 員 会

目 次

【議案】

- 議案第1号 令和2年度宮崎県一般会計補正予算（第9号） ----- 1
 - 県立学校等衛生環境改善事業 ----- 2
 - 文化施設等の衛生環境改善事業 ----- 4

【報告事項】

- 家庭教育を支援するための施策の実績等（令和元年度）について ---- 6

【その他の報告事項】

- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の報告書について ----- 10
- 国体正式競技と中学校の部活動について ----- 14
- 宮崎県高等学校（中学校）特別スポーツ大会
2020の実施状況について ----- 16

(議案第1号)

令和2年度宮崎県一般会計補正予算(第9号)

【単位：千円】

会計	所 属	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般 会 計	教 育 政 策 課	0	3,230,115	3,230,115
	財 務 福 利 課	98,000	4,544,452	4,642,452
	高 校 教 育 課	0	4,720,705	4,720,705
	義 務 教 育 課	0	267,730	267,730
	特 別 支 援 教 育 課	0	555,702	555,702
	教 職 員 課	0	95,651,754	95,651,754
	生 涯 学 習 課	5,972	563,579	569,551
	ス ポ ー ツ 振 興 課	0	1,306,804	1,306,804
	文 化 財 課	6,519	576,506	583,025
	人 権 同 和 教 育 課	0	129,343	129,343
	合 計	110,491	111,546,690	111,657,181
特 別 会 計	財 務 福 利 課 (県 立 学 校 実 習 事 業)	0	225,034	225,034
	財 務 福 利 課 (育 英 資 金)	0	962,860	962,860
	合 計	0	1,187,894	1,187,894
総 計	110,491	112,734,584	112,845,075	

県立学校等衛生環境改善事業

財務福利課

1 事業の目的・背景

県立学校等における新型コロナウイルス感染症予防を含む衛生環境の改善を一層推進するため、便器の洋式化をはじめとするトイレの改修を行う。

2 事業の概要

- (1) 予算額 98,000千円
- (2) 財源 全額一般財源（臨時交付金）
- (3) 事業期間 令和2年度

(4) 事業内容

県立高校等や特別支援学校（寄宿舍）における児童生徒用トイレの洋式化等

3 事業効果

県立学校等のトイレの洋式化が更に進むことにより、学校における児童生徒の衛生環境が一層改善されるとともに、学校の魅力向上につなげることができる。

県立学校等衛生環境改善事業

県立学校等における新型コロナウイルス感染症予防を含む衛生環境の改善のためにトイレを洋式化

	(4月時点)	(8月末時点見込)	(9月補正後見込)
県立高校等	25.2%	37.8%	45.9%
特別支援学校(寄宿舍)	56.4%	64.4%	90.3%

○ 県立高校等のトイレの洋式化



学校における新型コロナウイルスを含む感染症の予防

㊦ 文化施設等の衛生環境改善事業

生涯学習課
文化財課

1 事業の目的・背景

不特定多数の来館者がある教育委員会所管の5施設（県立図書館、県立美術館、県総合博物館、県立西都原考古博物館、県埋蔵文化財センター分館）において、感染症予防のため、トイレの洋式化、手洗いの自動水栓化及び自動ドアの整備を行うことにより、衛生環境の改善を図る。

2 事業の概要

(1) 予算額 12,491千円

(2) 財源 全額一般財源（臨時交付金）

(3) 事業期間 令和2年度

(4) 事業内容

① 社会教育施設等の衛生環境改善事業（生涯学習課：5,972千円）

ア 和式トイレの洋式化（県立図書館6基、県立美術館6基 計12基）

イ 自動ドアの整備（県立図書館1箇所）

② 文化施設の衛生環境改善事業（文化財課：6,519千円）

ア 和式トイレの洋式化（県総合博物館6基、県立西都原考古博物館4基、県埋蔵文化財センター分館4基 計14基）

イ トイレ手洗いの自動水栓化（県総合博物館1台、県立西都原考古博物館8台、県埋蔵文化財センター分館4台 計13台）

3 事業効果

感染症予防対策のため必要な設備改修をすることにより、文化施設等の衛生環境が大きく改善される。

参考) 文化施設等のトイレの洋式化率 45.5%→66.7%

文化施設等の自動水栓化率 44.2%→55.8%

文化施設等の衛生環境改善事業

文化施設等における新型コロナウイルス感染症予防のために必要なトイレの洋式化、手洗いの自動水栓化、自動ドアの整備

1 社会教育施設等の衛生環境改善事業 (5,972 千円)

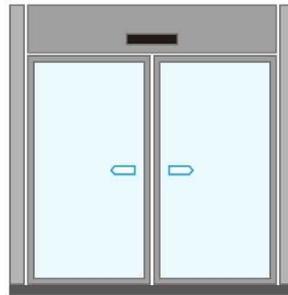
トイレの洋式化 (4,752 千円)

- 洗浄時の便のエアロゾル化を防ぐための和式トイレの洋式化



自動ドアの整備(1,220 千円)

- 接触感染を防ぐための手動ドアの自動ドア改修



2 文化施設の衛生環境改善事業 (6,519 千円)

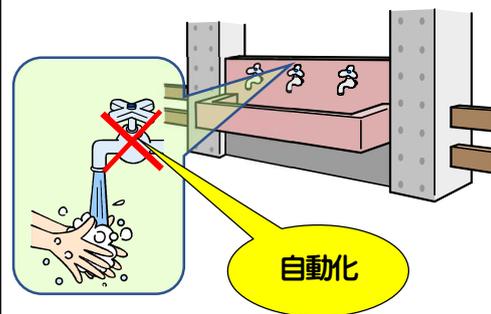
トイレの洋式化 (5,544 千円)

- 洗浄時の便のエアロゾル化を防ぐための和式トイレの洋式化



手洗いの自動水栓化(975 千円)

- 接触感染を防ぐために文化施設のトイレ手洗いの自動水栓化



文化施設等における衛生環境の改善

【報告事項】

生涯学習課

家庭教育を支援するための施策の実績等について

1 報告の根拠

宮崎県家庭教育支援条例（平成28年3月23日条例第34号）

第18条（年次報告）

知事は、家庭教育を支援するための施策を取りまとめるとともに、その実績について、毎年度、議会に報告し、公表するものとする。

2 報告の内容

令和元年度に実施した施策の実績（別添報告書）

第11条から第16条に示された6つの条文に沿って整理している。

第11条（親になるための学びの支援）

第12条（親としての学びの支援）

第13条（多様な家庭環境に配慮した支援及び関係者間の連携強化）

第14条（人材の養成等）

第15条（相談体制の整備、充実等）

第16条（広報及び啓発）

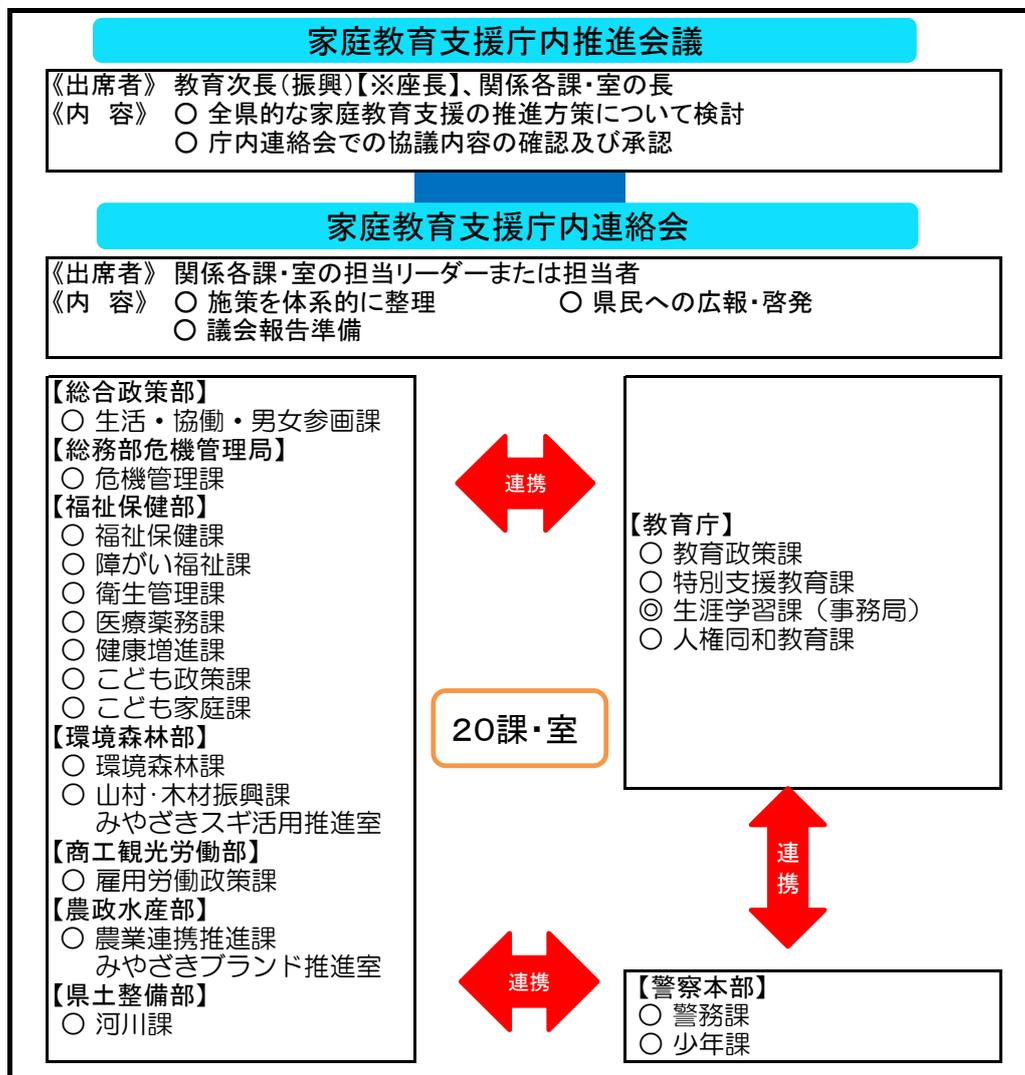
3 その他

- (1) 令和2年度に実施する施策の状況（事業一覧）
- (2) 令和2年度 全県的な家庭教育支援の推進体制

令和2年度に実施する施策の状況(事業一覧):20課・室52事業(内再掲13)

条例	条文の内容	教育庁	知事部局	警察本部
第11条	親になるための学びの支援	○みやざき心のバリアフリー推進事業【特別支援教育課】 ○みやざき家庭教育サポート推進事業【生涯学習課】	○生活困窮者家計相談支援事業【福祉保健課】 ○健やか妊娠サポート事業【健康増進課】 ○未来みやざき子育て県民運動推進事業【こども政策課】 ○みやざき食の安全・食育連携強化推進事業【農業連携推進課みやざきブランド推進室】	
第12条	親としての学びの支援	○みやざき家庭教育サポート推進事業(再掲) 【生涯学習課】 ○ひなたセーフティプロモーションスクール推進事業【人権同和教育課】	○訪問救急教室委託事業【医療業務課】 ○未来みやざき子育て県民運動推進事業(再掲) 【こども政策課】 ○乳児家庭全戸訪問事業【こども家庭課】 ○次代へつなげよう!魅力ある川・海づくり事業【河川課】	
第13条	多様な家庭環境に配慮した支援及び関係者間の連携強化	○みやざき地域学校パートナーシップ推進事業【生涯学習課】 ○チーム学校の実現に向けた教育相談体制支援事業【人権同和教育課】	○災害対策本部総合対策部室の見学受入れによる防災学習の実施【危機管理課】 ○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業【福祉保健課】 ○生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業【福祉保健課】 ○地域子育て支援拠点事業【こども政策課】 ○青少年健全育成条例運営事業【こども家庭課】 ○青少年健全育成強化推進事業【こども家庭課】 ○体罰は絶対に許さない社会づくり事業【こども家庭課】 ○子どもをまもる地域ネットワーク育成強化事業【こども家庭課】 ○「こどもエコチャレンジ施設」認定制度【環境森林課】 ○木育活動支援【山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室】	○少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動【少年課】
第14条	人材の養成等	○みやざき家庭教育サポート推進事業(再掲) 【生涯学習課】	○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業(再掲) 【福祉保健課】 ○発達障がい者家族相談員養成等事業【障がい福祉課】 ○みやざき食の安全・食育連携強化推進事業(再掲) 【農業連携推進課みやざきブランド推進室】	
第15条	相談体制の整備、充実等	○電話相談事業【教育政策課・人権同和教育課】 ○みやざき学び応援ネット【生涯学習課】 ○みやざき家庭教育サポート推進事業(再掲) 【生涯学習課】 ○みやざき子どもを守るネットトラブル対策事業【人権同和教育課】	○男女共同参画センター管理運営委託費【生活・協働・男女参画課】 ○生活困窮自立相談支援事業【福祉保健課】 ○子ども救急医療電話相談事業【医療業務課】 ○健やか妊娠サポート事業(再掲) 【健康増進課】 ○子ども・若者支援促進事業【こども家庭課】 ○児童家庭支援センター設置運営事業【こども家庭課】	○少年サポートセンター運営事業【少年課】 ○未来を担う少年育成のためのスクールサポーター事業【少年課】
第16条	広報及び啓発	○みやざき学び応援ネット(再掲) 【生涯学習課】	○男女共同参画センター管理運営委託費(再掲) 【生活・協働・男女参画課】 ○「気軽に相談!」多重債務者対策事業【生活・協働・男女参画課】 ○消費者行政活性化事業【生活・協働・男女参画課】 ○「子どもたちの夢・挑戦」応援事業(再掲) 【福祉保健課】 ○青少年健全育成条例運営事業(再掲) 【こども家庭課】 ○青少年健全育成強化推進事業(再掲) 【こども家庭課】 ○ワークライフバランス促進事業【雇用労働政策課】 ○動物愛護センターを活用した動物愛護思想の普及啓発推進事業【衛生管理課】	○命の大切さを学ぶ教室【警務課】 ○少年サポートセンター運営事業(再掲) 【少年課】

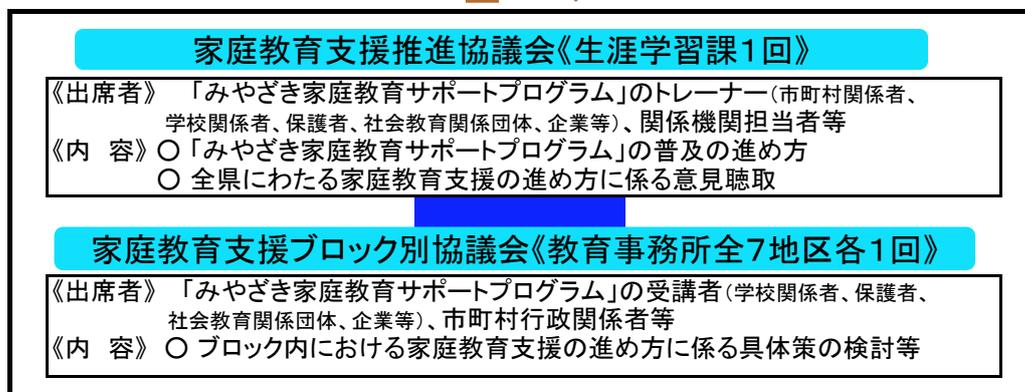
各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができる環境整備に努めるとともに、家庭教育を地域全体で応援する社会的気運を醸成することで、子どもの健やかな成長に喜びを実感できる宮崎県の実現を目指す。



【県民からの意見を施策に反映】



【事業等の説明】



宮崎県家庭教育支援条例

- 第11条 親になるための学びの支援
- 第12条 親としての学びの支援
- 第13条 多様な家庭環境に配慮した支援及び関係者間の連携強化
- 第14条 人材の養成等
- 第15条 相談体制の整備、充実等
- 第16条 広報及び啓発



教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の報告書について

1 概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することとされている。

「点検・評価」の内容としては、教育委員の活動状況をまとめるとともに、宮崎県教育振興基本計画の進行管理にも活用できるよう、全ての施策を対象とした指標・実績等の評価・分析を行っている。

2 「点検・評価」報告書・・・別冊資料

－報告書の構成－

- 第1章 令和元年度の教育委員会会議及び教育委員の活動状況
- 第2章 令和元年度の各施策の状況
- 第3章 外部有識者の意見
- 第4章 総括

3 作成経過及び今後の日程

- 3月～5月 令和元年度の取組について、事務局内での点検
- 6月 教育委員会での協議
- 7月 外部有識者会議の実施
- 8月 教育委員と事務局職員との協議
- 8月 教育委員会において令和2年度「点検・評価」を付議・決定
- 9月 県議会(常任委員会)に報告(今回)
- 10月 県ホームページ等で公表(予定)

4 評価の基準

段 階		評 価 区 分
一次評価	二次評価	
a	A	成果が出ており、順調である。
b	B	一定の成果が出ており、概ね順調である。
c	C	一部に成果が上がっていない項目がある。
d	D	成果があまり上がっておらず、取組が進んでいない。

5 評価結果

A 評価が6施策及び2つの重点取組、B 評価が6施策及び1つの重点取組、C 評価が3施策、D 評価は該当なしであり、全体としては一定の成果が出ている。成果や課題も踏まえ、今後も令和4年度の最終目標の達成に向けて、各施策の推進に取り組む必要がある。

令和元年度 各施策の評価結果一覧

施策	推進指標及び関連指標		評価	
			一次	二次
1	生涯学習の推進			
	1	日頃から生涯学習に取り組んでいる県民の割合	c	A
	2	子どもが規則正しく生活できていると感じる保護者の割合	a	
3	みやざき家庭教育サポートプログラムを活用した講座数	a		
2	地域と学校の連携・協働の推進			
	1	学校が地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めていると捉えている地域住民の割合	a	A
	2	地域社会との連携・協働にかかわって、学校の活動において地域人材の活用を行っている学校の割合	a	
	3	保護者や地域住民による「学校関係者評価」を実施・公表し、開かれた学校づくりに取り組んでいる学校の割合	d	
4	アシスト企業の活用数	a		
3	読書県づくりの推進			
	1	県内公立図書館の年間貸出総数	a	A
	2	読書好きな小中学生の割合	a	
	3	小中高校生 <small>小中高</small> の1か月の平均読書冊数	d	
a				
4	幼児期の教育の充実			
	1	幼稚園・保育所・認定こども園の職員と小学校の教諭等が「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を共有して意見交換や合同の研修会等を行っている幼児教育・保育関係施設の割合	a	B
2	子育てに関する不安感や負担感を感じている県民の割合	d		
5	確かな学力を育む教育の推進			
	1	全国学力・学習状況調査における 本県の平均正答数(教科合計) _____ ×100 全国の平均正答数(教科合計)	d	B
	2	「資質・能力」育成関連の研修会等参加者数	a	
3	全国学調・みやざき学調の問題や結果資料を十分に分析・活用している割合	b		
6	人権を尊重し豊かな心を育む教育の推進			
	1	「自分には良いところがある」と思う児童生徒の割合	小中高 a a a	A
	2	「人権が尊重されている学校になっている」と思う児童生徒の割合	小中高 a d b	
	3	道徳の授業以外で、「いのち」の尊さや大切さに関する授業(活動)や取組を行っている学校の割合	小中高 a a a	
4	県が作成した道徳教育読み物資料を道徳の時間等で活用している割合	d		
7	特別支援教育の推進			
	1	特別支援学校高等部卒業生の就職率	d	C
2	高等学校で通級による指導を受けた生徒数	b		
8	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育の推進			
	1	ふるさとが好きだと思ふ児童生徒の割合	小中高 a d b	A
	2	ふるさと学習を教育課程に位置付けている割合	a	
	3	ふるさと学習に関して、総合的な学習(探究)の時間等で地域の素材や人材を活用した取組を行っている学校の割合	a	
4	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる学校の割合	a		

施策	推進指標及び関連指標		評価	
			一 次	二 次
9	キャリア教育・職業教育の推進			
	1	将来の夢や目標を持って職業や生き方を考えている中学3年生の割合	d	B
	2	「ひなた場」参加校	c	
	3	地域人材や産業界等と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる学校の割合	a	
	4	県内就職率(県立高校)	a	
10	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育の推進			
	1	児童生徒がICT機器を授業や学習活動などで活用する場面に週に一度以上設定している教職員の割合	小中高 d d d	B
	2	国際理解教育(国際教育)充実のための教育活動を推進している学校の割合	小中高 d a a	
	3	サイエンスコンクールの作品応募総数(小学校・中学校・高等学校の合計)	d	
	4	「教育の情報化」に関する研修会への参加した教職員の割合	a	
	5	環境教育の推進指定校	a	
11	教職員の資質向上と学校業務の改善			
	1	授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合	c	B
	2	時間管理と健康管理を意識した仕事を行うことができている教職員の割合	b	
	3	研修など自己研鑽を通して、児童生徒の満足感を高めるための授業改善を行っている教職員の割合	d	
	4	働きやすい環境づくりについて学校での取組が進んでいると答えた教職員の割合	小中高 d d a	
12	安全・安心な教育環境の整備・充実			
	1	子どもの安全確保のために、家庭や地域ボランティア等と行動連携を図っている学校の割合	a	A
	2	避難訓練や防災研修を地域や専門家と連携して実施している学校の割合	a	
	3	定期的にまたは必要に応じて危機管理マニュアルの見直しを行っている学校の割合	小中高 a a a	
13	魅力ある多様な教育の振興・充実			
	1	一貫性のある教育推進のため異校種間の連携に取り組んでいる学校の割合	小中高 d d d	B
	2	中学校卒業生数に占める高等学校等進学者及び専修学校(高等課程)進学者の割合	a	
14	文化の振興			
	1	日頃から文化に親しむ県民の割合	c	C
	2	県立美術館の年間入館者数及び講座の受講者数	d	
	3	宮崎県総合博物館の年間入館者数及び講座の受講者数	b	
	4	県立西都原考古博物館の年間入館者数及び講座の受講者数	d	
	5	県立芸術劇場入場・利用者数	a	
15	スポーツの振興			
	1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において平均値が全国平均以上の調査項目の割合	d	C
	2	運動・スポーツを週1回以上行っている県民の割合	c	
	3	国民体育大会(国民スポーツ大会)の総合成績(都道府県)の順位	d	
	4	SALKOの登録者数	a	

施策	推進指標及び関連指標			評価		
				一 次	二 次	
重点 取組 1	いのちを大切にする教育の推進			小 中 高	a a a	A
	1	道徳の授業以外で、「いのち」の尊さや大切さに関する授業(活動)を行っている学校の割合				
	2	「SOSの出し方に関する教育」を行っている学校の割合				
重点 取組 2	地域と学校の連携・協働による多様な活動の充実			小 中 高	a a a	A
	1	地域社会との連携・協働にかかわって学校の教育活動に地域人材を活用している学校の割合				
	2	子どもたちが地域の行事に積極的に参加している答えた地域住民の割合				
重点 取組 3	学校における働き方改革の推進			小 中 高	a a d	B
	1	働きやすい環境づくりに取り組んでいると答えた学校の割合				
	2	働きやすい環境づくりについて学校での取組が進んでいると答えた教職員の割合				

国体正式競技と中学校の部活動について

スポーツ振興課

1 国体正式競技

4 1 競技

2 少年競技の中で中学3年生が出場可能な競技

2 1 競技

3 中学校に部活動がない競技

2 1 競技

- ・ 中学3年生が出場可能な競技 1 2 競技
- ・ 中学3年生が出場できない競技 9 競技

4 中学校に部活動がない競技の中で、特に本県がジュニア世代の普及・強化を図っていく競技

1 6 競技

- 今年度より新規事業「未普及競技選手育成事業（ひむかサンライズプロジェクト）」を実施
 - ・ 内容
事業推進対策会議を実施し、小中学生選手に対して、強化練習会、オリンピック等の講演会等を行う。
 - ・ 対象競技
水球、ボート、ホッケー、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング
自転車、馬術、フェンシング、ライフル射撃、スポーツクライミング
カヌー、アーチェリー、なぎなた、ボウリング、銃剣道
- 今後、市町村教育委員会と連携し、部活動の設置に努める。

国体正式競技と中学校の部活動について

(1) 国体正式競技		(2) 中学校3年生の 出場可能競技	(3) 中学校に部活動 がない競技	(4) 特に普及・強化を 図る競技
1	陸上競技	○		
2	水泳	○		
		○	○	
		女子のみ	○	◎(男子含む)
		○	●※	
		○	○	
3	サッカー	○		
4	テニス	○		
5	ボート		●	◎
6	ホッケー		●	◎
7	ボクシング			
8	バレーボール			
9	体操	○		
		○		
		○	○	
10	バスケットボール	○		
11	レスリング	○	○	◎
12	セーリング	○	○	◎
13	ウェイトリフティング		●	◎
14	ハンドボール			
15	自転車		●	◎
16	ソフトテニス	○		
17	卓球	○		
18	軟式野球			
19	相撲			
20	馬術	○	○	◎
21	フェンシング	○	○	◎
22	柔道			
23	ソフトボール			
24	バドミントン	○		
25	弓道			
26	ライフル射撃	○	○	◎
27	剣道			
28	ラグビーフットボール			
29	スポーツクライミング	○	○	◎
30	カヌー	○	○	◎
31	アーチェリー	○	○	◎
32	空手道			
33	銃剣道		●	◎
34	クレール射撃		●	
35	なぎなた		●	◎
36	ボウリング	○	○	◎
37	ゴルフ	○		
38	トライアスロン		●	
39	スキー	○		
40	スケート	○	○	
41	アイスホッケー		●	
計	41競技	21競技	21競技	16競技

(3)○～中3生が出場可能 ●～中3生が出場できない

※～水泳でアーティスティックスイミングのみ

中3生が出場できない

宮崎県高等学校（中学校）特別スポーツ大会2020 の実施状況について

スポーツ振興課

(令和2年9月7日現在)

1 高等学校特別スポーツ大会2020

(1) 開催期日

令和2年6月27日（土）～9月22日（火）〈予定〉

(2) 開催競技 25競技

① 実施済みの競技 17競技

陸上、体操・新体操、水泳、卓球、ソフトテニス、テニス、ソフトボール、ハンドボール、弓道、バドミントン、空手道、フェンシング、ヨット、自転車、なぎなた、カヌー、硬式野球

② 9月以降に延期した競技 5競技

レスリング、柔道、相撲、ホッケー、ボート

③ 9月以降に開催予定の競技 1競技

剣道

④ 中止を決定した競技 2競技

登山、馬術

2 中学校特別スポーツ大会2020

(1) 開催期日

令和2年7月13日（月）～8月4日（火）

(2) 開催競技 19競技

① 実施済みの競技 19競技

一括開催：陸上、水泳、弓道、柔道、相撲、新体操・体操、ソフトボール、ハンドボール、ジュニア・ラグビー、テニス、空手道

地区開催：バレーボール、軟式野球、ソフトテニス、卓球、サッカー、バスケットボール、剣道、バドミントン

